



2024年11月12日

各 位

会 社 名 UNBANKED株式会社
代表者名 代表取締役社長 安達 哲也
(コード：8746 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 七條 利明
電話番号 03-6456-2670(代表)

(訂正・数値データ訂正) 「2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績見通しに関するお知らせ」の一部訂正について

2024年11月11日に公表しました「2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績見通しに関するお知らせ」について、記載内容の一部に訂正すべき箇所がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データにつきましても送信いたします。

記

(1) 訂正の理由

「2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績見通しに関するお知らせ」について、持分法による投資損失の計上額について、当社の持分法適用会社であるクラウドバンク株式会社より決算報告の修正が入ったため、監査法人と協議した結果、金額を訂正することとなり、これに連動して、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益を訂正します。

(2) 訂正の内容

訂正箇所は下線を付して表示しています。

【訂正前】

1. 業績見通し

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績見通し
(2024年4月1日~2024年9月30日、単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益(当期純利益)
2025年3月期 中間期(連結 速報値)	3,506	65	<u>90</u>	<u>101</u>
2024年3月期 中間期(前年同期実績)	1,882	△46	62	65
増減率(%)	86.3	—	<u>44.4</u>	<u>55.5</u>
2024年3月期通期(連結実績)	5,310	△149	45	390

2. 説明

当社グループにおきましては、当第2四半期（中間期）における連結売上高は、主力の金地金事業において、金価格が史上最高値を更新し続ける市場環境においても、富裕層を中心に金地金に対する投資需要は根強く推移し、前年同期比86.3%増の3,506百万円となりました。

前期に引き続き経費抑制を継続的に行い、営業利益は65百万円となり、経常利益は、投資有価証券売却益106百万円の計上、持分法による投資損失123百万円の計上等により90百万円となりました。

また、クラウドバンク・キャピタル株式会社の株式取得による負ののれん発生益26百万円を特別利益に計上し、親会社株主に帰属する中間純利益は101百万円となる見通しです。

これらの速報値につきましては、現時点での合理的判断による見通しであり、実際の業績数値とは異なる可能性があります。

【訂正後】

1. 業績見通し

2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績見通し
（2024年4月1日～2024年9月30日、単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益 （当期純利益）
2025年3月期 中間期 （連結 速報値）	3,506	65	114	124
2024年3月期 中間期 （前年同期実績）	1,882	△46	62	65
増減率（%）	86.3	—	81.9	91.7
2024年3月期通期 （連結実績）	5,310	△149	45	390

2. 説明

当社グループにおきましては、当第2四半期（中間期）における連結売上高は、主力の金地金事業において、金価格が史上最高値を更新し続ける市場環境においても、富裕層を中心に金地金に対する投資需要は根強く推移し、前年同期比86.3%増の3,506百万円となりました。

前期に引き続き経費抑制を継続的に行い、営業利益は65百万円となり、経常利益は、投資有価証券売却益106百万円の計上、持分法による投資損失100百万円の計上等により114百万円となりました。

また、クラウドバンク・キャピタル株式会社の株式取得による負ののれん発生益26百万円を特別利益に計上し、親会社株主に帰属する中間純利益は124百万円となる見通しです。

これらの速報値につきましては、現時点での合理的判断による見通しであり、実際の業績数値とは異なる可能性があります。

以上